国労の運動に共感！近畿地方本部で相次いで組織拡大

今こそ国労に加入し、職場環境・労働条件を一緒に改善していこう！

労働組合への加入は自由ですよ！

みなさん、労働組合は加入しても加入しなくてもいいのです。また、どこの組合に入っていても会社は「差別するものではない」としています。そもそも組合加入を理由に差別などしてはいけないものであり、不当労働行為にあたります。

声をあげないと変化なし！

みなさんの職場の働く環境・労働条件はどうですか？諦めたりしていませんか？これが当たり前なんだと思っていませんか？

困っていることはしっかりと声に出していかないと何も変わりません。

この間、わたしたちの組合に加入する仲間が増えています。自分でしっかりと労働組合を選び加入してくれています。労働組合は、組合員一人一人の生活を向上させるため、また労働条件を良くするため、職場環境を良くするため等、会社と交渉を行ない改善させています。

ハラスメントでは向上しない！

この間、私たちの組合に加入した仲間に対して、一部の人たちによるイジメが行なわれています。「無視されてツラかった」「仲間外れにされた」「罵声をあびた」「国労に入ると会社から差別されるぞ」等の発言を受けたという声を聞いています。会社立場でのハラスメント、同期からの無視、人としてどうなのかと思える事象が相次いでいます。

国労西日本本部拡大速報
№706　2026年2月5日
国労西日本本部　組織部

近畿地方本部 大阪貨物分会
ジェイアール貨物西日本ロジスティクス
百済営業所
濱田　龍彦さん（66歳）

本人コメント
「私は1978年10月、国鉄新幹線総局に入社後、車両研修係として当時の大阪第一運転所（鳥飼基地）に配属され、国労組合員として仲間と共に闘って参いりました。分割民営化に向けて国鉄改革が始まった途端に昇進・昇格など当局による国労解体・弱体化を狙った差別選別が露骨に行われました。先行きに不安を感じた周囲の国労組合員は大量に脱退して他労組に加入。毎日のように数十枚規模の脱退届が来た時の悔しさは昨日の事のように憶えています。国鉄末期、一部過激派による脅迫事件や自殺事件が横行する中、まさに国労にとって暗黒の時代でした。役員を含む国労組合員は理不尽な理由で現場を外され、人材活用センターに隔離されて基地内の草刈り作業が続きました。当局に陥分と唇を噛むような日々が続き、心が折れる思いもしましたが、やはり最後の支えは国労の仲間でした。仲間台も、家族があって減収で大変なはずなのに、当局の個人攻撃や親しい仲間の裏切りにも負けず、ひたすら国労組合員の利益のために声を上げて闘うのは国労だけでした。JR東海で乗務中も狙い撃ちがありましたが、やはり心の支えは国労の仲間でした。長々となりましたが、久しぶりの復活です。よろしくお願いします！」

第３９回大会以降、１人目
職場オルグを展開して
各地方１名以上の拡大をやりきろう！

国労西日本本部拡大速報
№707　2026年2月5日
国労西日本本部　組織部

近畿地方本部
兵庫地域分会
ジェイアール貨物西日本ロジスティクス
神戸営業所
山口　学さん（25歳）

本人コメント
「フォークリフトオペレーターとして、労働条件改善をめざして頑張っていきたいと思います。」

第３９回大会以降、２人目
職場オルグを展開して
各地方１名以上の拡大をやりきろう！

国労西日本本部拡大速報
№707　2026年2月16日
国労西日本本部　組織部

近畿地方本部・京滋地域分会
JR西日本・京都車掌区
大川 泰貴さん（33歳）

本人コメント
「柘植の乗泊清掃を止めないと各職場に波及する。反対の立場で奮闘する、先輩の姿を見て加入を決心した。」

第３９回大会以降、３人目
「国労に入ろう!」「一緒に変えよう!」等、声をかけ
各地方１名以上の拡大をやりきろう！

○○に伝えたいことコーナー

「　技術継承　」

ベテラン社員の高齢化が進む中で、技術・技能の継承が進んでいません。このままベテラン社員がリタイアしてしまえば、生産性は下がってしまう可能性が高い。目の前の業務をこなすのが精一杯で、少子高齢化の中で大きな課題が「技術・技能の継承」です。「かつて団塊の世代が完全に引退する迄に技術継承をすることが急務だと騒がられました」２００７年頃のことです。しかし数年が経過した現代でも変わっていません。

技術継承には「時間」と「人財への還元」が必要です。業務に取り組んでも成果は直ぐに見えてこず、目先の業務を優先しているのが現状です。

ＪＲ西日本は業務の効率化を推し進め充分な技術指導が行なえず、労働者間に「コミュニケーション」不足が生じています。高度成長期には先輩・後輩・同僚同士が教え合う環境がありました。現在では、要員は足りず時間とゆとりが不足しています。より良い働きやすい職場環境づくりには労働者の声が必要です。引き続き安全・安心して働き続けられる職場を構築して仲間と共に奮闘していきましょう。・・・・・・・・・・・（活）

NRU
国労西日本

国労西日本本部
NO. 401
発行責任者　植田　重信
編集責任者　大北　真也

国労西日本ＨＰ

国労西日本　検索

TUNAG

ＴＵＮＡＧを利用中
組合員の皆さん登録しよう
登録は西日本本部または地方本部へ

春闘勝利、安全・安心の鉄道と社会をつくろう！
３・１２西日本本部総行動を開催

西日本本社・貨物関西支社前に１５０名の仲間が結集！

３月12日（木）、西日本本社・貨物関西支社前において「春闘勝利、安全・安心の鉄道と社会をつくろう！西日本本部総行動」を開催しました。

大和執行副委員長の司会で始まり、主催者を代表して植田執行委員長が「全ての労働者の頑張りに報いること。企業として責任を果たさなければならないこと。物価高騰の厳しい状況だからこそ労働者の生活を守り、モチベーション向上の為にも労働者に還元を行なうことが重要である。あらゆる諸課題に本部や地方としっかりと連携して運動を前進させていく」と挨拶を行ないました。

国労本部より佐藤執行副委員長が参加し「要求を実現するため職場から交渉を押し上げる取り組みを強めることが必要。３月３日、政党要請、駅頭宣伝行動、中央総決起集会を開催してきた。運動の前進や要求実現に向けて宮﨑執行委員長を先頭に奮闘する」と激励と連帯の挨拶を行ないました。

交渉の報告を伊野賃金対策部長が行ない、関西貨物協議会から工藤議長が「ベース・アップについては実施したいと考えており、昨年を確実に上回る金額との考えを示した。貨物会社はシニア社員の賃金の低さに目を向けて引き上げると共に関連会社の業務委託費も見直しが必要である。引き続き生活改善、労働条件改善、賃金引き上げに向け最後まで全力で奮闘する」との決意表明を行ないました。

各地方本部・決意表明として、広島地方本部・佐々木執行委員長、北陸地方本部・藤野執行委員長、岡山地方本部・小林執行委員長、近畿地方本部・西澤執行委員がそれぞれ決意表明を行ないました。

行動提起を大北書記長が行ない、最後に波見執行委員が気持ちのこもったシュプレヒコールと団結ガンバローを行ない閉会しました。１５０名の仲間が集まり、回答を押し上げる決意のこもった総行動となりました。職場からの全組合員運動を強化し、最後まで奮闘しましょう！

２０２６春闘勝利
３・３国労中央総決起集会

３月３日（火）交通ビルＢ１Ｆ会議室及びリモートを活用して開催されました。

佐藤執行副委員長の開会・司会挨拶で始まり、主催者挨拶を宮﨑執行委員長が行ないました。

講演「２０２６年春闘をめぐる情勢と労働組合の役割について」松上　隆明氏（労働政策研究・研修機構）より受け、岩元書記長から２０２６春闘に向けた取り組みと各政党要請報告がありました。

公共交通を守る全国統一行動取り組み報告として岡山地方本部、米子地方本部、首都圏地方本部高崎地区本部から報告を受けました。

決意表明としてビデオメッセージを６本、エリア本部代表として、北海道本部から岩村執行委員長、西日本本部から大北書記長、グループ会社としてＪＲ東日本ステーションサービスから竹内氏が行ないました。

最後に工藤青年部長が団結ガンバローを行ない閉会しました。

見直しもご相談ください！

〈募集代理店〉(アフラックは代理店制度を採用しています)
アベニール株式会社
〒105-0004 東京都港区新橋５－１５－５交通ビル3階
Tel.03-3437-6810

〈引受保険会社〉
「生きる」を創る。
Aflac
アフラック
法人第二営業部
〒163-0456 東京都西新宿2-1-1新宿三井ビル20階
Tel.03-6385-9829